

みどころいっぱい香住海岸 (国指定名勝)

① しおかぜ香苑



香住海岸のほぼ中央に位置する日本海に面した海浜公園です。こども広場や多目的広場、香住浜海水浴場などがあり、町民の憩いの場となっています。ここにはかつての香住を描いた古地理図があります。当時の情景を想像してみましょう。

② 香住漁港西港



香住漁港西港ではカニや魚など、1年を通して多種多様な魚介類が水揚げされます。特に香住ガニ(紅ズワイガニ)はこの地域の名物として親しまれています。朝、市場では活気のないセリを聴くことができ、港の風情を味わうことができます。

③ 岡見公園



湾の東端部にあり、元の市杵島(いつきしま)と陸との間に砂がたまって地続きになった陸繋島。岸壁には柱状の規則正しい割れ目が入った岩脈も見られます。頂部には松やシイなどが繁茂し、春は桜、夏はユズガキが咲き、日本の夕日百選にも選定。丘からの眺望は素晴らしい!

④ かすみ丸船着場



三姉妹船長が、香住海岸を遊覧船でご案内します。国の天然記念物「鎧の袖(よろいのそで)」や、奇岩、洞門などの絶景ポイントを、約30分、約1時間、約1時間30分の各コースでご案内します。詳しくは、遊覧船かすみ丸まで。(問)0796-36-0571

⑤ 香美町立ジオパークと海の文化館



1階は山陰海岸ジオパークを学ぶフロア。香美町の地形や地質が育んだ風土や暮らし、食などを紹介。2階は香住の「海の文化」を学ぶフロア。北前船の歴史やカニやイカ漁の様子などの他、日本海に生息する魚類をくわしく紹介。(問)0796-36-4671

⑥ 松ナワテからの眺望



北には今子浦や白石島、黒島が、西には岡見公園、香住港が望め、西遠方には下浜や鎧の袖などを見ることができます。崖下には、日本海が開き始めた頃、大陸の縁辺にできたぼ地にたまった砂岩や泥岩が分布し、ゾウなどの足跡化石が残されています。

⑦ 今子浦とかえる島



東にそびえる海食崖は、夕陽をあびると赤く染まることから、「但馬赤壁」と呼ばれ、西側には波の侵食によってできた棚のような地形「千畳敷」が広がります。千畳敷の北にはかえる島が鎮座。天然の入り江である今子浦は、四季を通じて海遊びの格好の場所となっています。

⑧ 大引の鼻



今子浦北端の切り立った岬。日本海形成期に噴出した火山岩類からなる岩壁で、海が荒れた日には荒々しい日本海の風景が楽しめます。岬先端部の展望台からは西側の名勝香住海岸や広々とした日本海一帯が眺望でき、絶好の景観地となっています。

⑨ 二つ石と舟屋跡



二つ石は、村ごとの漁場の境界を示すための石。周辺には、かつて漁具や漁船を格納した舟屋が並びます。舟屋は現在海に接しておらず、舟屋の位置から当時の海岸線を想像することができます。

⑩ 香住谷川



現在は、ずっと西の七日市と矢田の間で海に流れ込む矢田川ですが、かつてこの香住谷川あたりを流れていた時期もあったようです。香住第一中学校南側の長見寺廃寺跡の調査では、かつての河川の痕跡が見つかっています。

ジオコラム②

雄大な景色ができたわけ

今子浦を見てみると、千畳敷は平らなのに、かえる島や黒島、大引の鼻は地面から飛び出ているように見えます。これは、石の性質の違いにより生じたものと考えられます。千畳敷の白い岩石は火山灰が固まった岩石で、波などにより削られやすい性質をしています。一方、かえる島や黒島、大引の鼻の黒い岩石はマグマの固まった火山岩で、硬く侵食に強いのが特徴です。このような岩石の違いにより、やわらかいところだけ先に削り取られて、現在の地形になりました。

クイズの答え

- ① 矢田川はかつてずっと東の香住東港付近で海に流れ込んでいた時期がありました。
- ② イカ釣り船。電球の強い光でイカを集めて捕まえています。
- ③ 岩場の凹みに石ころが入り込み、波の力によってころ転がり削られ穴ができました。この穴を甕穴(ポットホール)といいます。

ジオコラム①

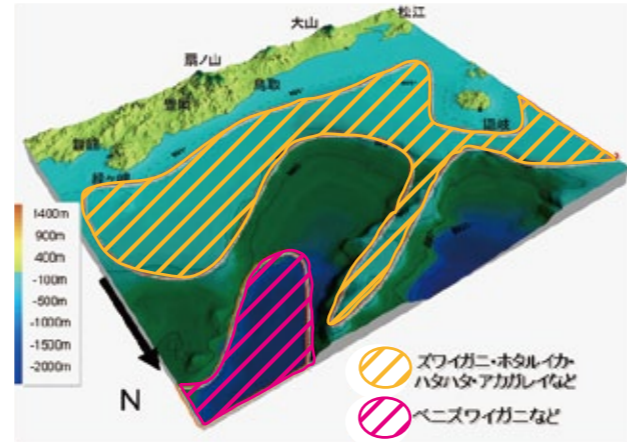
大地のダイナミクス! 日本海形成と海の幸! 冬の味覚「ズワイガニ」

美味しい日本海の幸いろいろ!



松葉ガニや香住ガニ

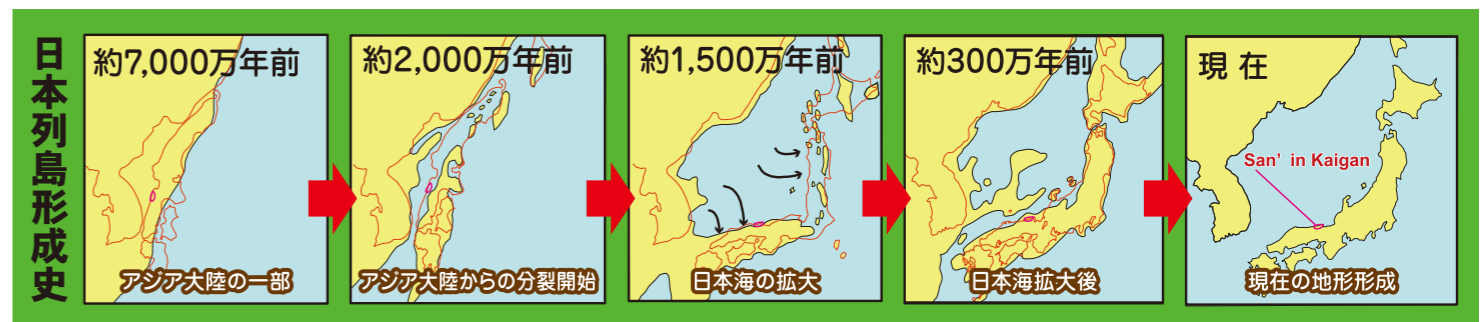
(上)イカの干物(下)ノドグロ



日本海の海底地形と漁場

かつて日本列島は大陸のへりに位置していました。それが大地のダイナミックな動きにより割れて、日本列島が大陸から分裂し、日本海ができました。この巨大な「くぼ地」に孤立した、酸素量の多い海水は「日本海固有水」と呼ばれています。現在の日本海は中心部がとても深く、隣接する海とつながる海峡の水深は概ね50~140m程度と浅いため、海水の交換が表層に限

られます。そのような地形のため、表層には暖流である対馬海流が南から流れ込み、水深が深い場所は水温が低くなります。この冷たい日本海固有水と表層を流れる暖流により、山陰海岸ジオパークではカニなどの冷たい海に住む魚介類と、ブリなど暖かい海からやってくる魚介類が異なる水深で生息しています。そのおかげで、様々な種類の魚介類を同時に楽しむことができます。



カニ料理、活イカ料理など... 海の料理について (問) 香美町香住観光協会 TEL.0796-36-1234